

一木会

経営者には
真摯に学び続ける
使命がある

【一木会の目的】

本会は、熱き志を持ったリーダー（※）が、幅広い基礎教養を身に付け、人間力を高め、時流を捉えた仮説と検証を繰り返し、個から組織、地域、国、世界がより良くなることを自身の喜びと成し、社会に貢献することを目的とする。

（※）「リーダーを目指す者」「リーダー候補生」も含む（会則・第1条より）

【一木会の成り立ち】

1996(平成8)年に大阪市主催の「なにわあきんど塾」十期生が、卒塾後も学びたいと政治経済・国際情勢の担当講師であった、泉和幸先生(東京陸幼四十八期～元産経新聞ジャーナリスト・故人)を講師に迎えスタート。

毎月第一木曜日に、古今東西の歴史・時事を基に勉強を重ねてきました。

あきんど塾が毎週水曜日開催だったので、当時、泉先生の日程と重ならない第一木曜日に設定した由来で「一木会」と称しております。

2015(平成27)年、泉先生がご高齢になられた事も有り、自主運営に切り替えました。

Q. 一木会とは？

A. 毎月第【一】【木】曜日 18時30分～ 開催している 勉強【会】です。

会場は、堺筋本町の「大阪産業創造館」をメインに開催しています。

Q. どんなメンバーがいますか？

A. 主に、大阪・関西を拠点とする 20～60 代の中小企業の経営者層や、個人事業主が中心で、現在約 20 名です。幹部候補・リーダー見習い・独立開業予定者も在籍しています。北海道や関東を拠点としているメンバーも、Zoom も含めて参加しています。

Q. どんな勉強をしているの？

A. 政治・経済・国際情勢・最新技術をはじめ、歴史・古典・スポーツ・音楽等々、会員が興味を持っているテーマについて講師をお呼びして、見聞を深めています。

普段の日常業務に追われる環境から、一時離れて、社内・業界内では触れる事の無い情報・考え方を見聞きする事で、自分の生き方・家族や社員との向き合い方・経営方針に 新たな発想をもたらす事で、一ヶ月間の棚卸しが出来ます。

講義や活動を通じて「熱い志・リーダーシップ」「幅広い基礎教養・人間学」「時流」を学び、自分が成長する事で周囲の方々に好影響を与えて、事業の発展・人材成長が、地域貢献ひいては国家への貢献に繋がるとの想いを大切にしたいと考えています。

Q. 異業種交流会 とは 違うのですか？

A. 様々な業種の会員が在籍して、交流を深めると言う点では、異業種交流会ですが、名刺交換を目的として、即、ビジネスに繋がる成果を求めている会では有りません。

※ 会員同士のビジネスを禁止している訳では有りません。参加回数が増えるにつれて、お互いの人となりや、事業内容への理解が自然と深まり、相談・声掛けをする中で、依頼・協業になっているケースも有ります。

★注意★ 職業選択の自由、思想・信条の自由は大切に考えていますが、会員に対して、ネットワークビジネス・マルチ・宗教の勧誘・布教は禁止で、除名処分となります。

Q. 会の活動で、業務に支障は出ないですか？

A. 大丈夫です。基本的には、毎月第一木曜日・晩の活動のみです。毎週レポートを作成するとか、発表会に別途参加しなければならない等は有りません。

ただ、自主運営で開催している為、メンバーを班分けして、年2回程度、月幹事をお願いしています。

会の目的に沿ったテーマを選定して、講師を依頼して、当日の進行を分担していきます。打合せは、LINE や Zoom で行う事が多いので、無理なく参加して頂けます。

班活動を通じて、メンバーの事をより深く知る事が出来ます。他の経営者の考え方・段取り・リーダーシップを学んで、実践する場としても、有意義な時間で、学ぶものが多いと思います。

Q. 懇親会はありますか？

A. はい。毎月第一木曜日・18時30分～約二時間の勉強会の後、自由参加で、近隣の飲食店で、懇親会を開催します。

「大人になってから出来た友だち」と「放課後」「部活動」を過ごす感覚で、今日の勉強会で感じた事や、身近な日常生活の事から世界情勢まで幅広く、話が弾みます。

経営者、組織リーダー、自己成長などの共通点を持ったメンバーならではの率直な意見交換が可能で、他者に相談し難い事柄についても、懇親会に於いては幅広い見識からのフィードバックをもらう事が出来ます。

Q. 毎月参加出来無いのですが…

A. 月一回、同じメンバーが、同じ話を聞く事によって、共通の土壌を培う事で、各メンバーが話をし易い環境作りを目指しています。

又、「月一回」の自己の振り返り・棚卸の時間としても有効活用して頂きたいので、出来得る限り参加をお願いします。

事前に予定を組みやすくする為に、毎月「第一木曜日」「18時30分～」と日時を設定しています。

「事前に決まった日時に参加する」と言うビジネスマン・人間として大事な事柄に取り組んでいるかと言う 自分試しとしても無遅刻・無欠席にチャレンジして下さい。

以前は、「産創館」に来場するしか参加方法が有りませんでした。が、時代の流れに敏感で有れと言う会の趣旨に沿う為、近年は、Zoom でのリアルタイム・オンライン参加も可能にしています。

WEB では伝わらない事も有る為、基本的には、来場出席を基本としますが、物理的にどうしても来場不可の場合は、Zoom も活用して下さい。

この様に、社会情勢によって「変えても良いもの」「変えるべきもの」と、「変えてはいけないもの」を見極めて、会のルール・運営を、皆で決めて行くのも、この会の良いところで、家族・友人・会社等で、同じ様な問題が起きる場合の、シミュレーションとして事前体験を積む事が出来ます。

Q. 会費は幾らですか？

A. 月 3 千円(※)で、半年分をまとめて、ご入金頂きます。

これを講師料・会場費・資料代に充当して、運営しています。

懇親会(自由参加)は、都度の実費精算です。(各飲食店での領収書をお渡し可能)

尚、反社勢力と関わりの有る方、宗教・マルチ等の勧誘を目的としている方のご入会はお断りしております。

(※) 一木会(任意団体で、適格請求書発行事業者でない)の会費 の経理処理について 一般的に会費には、消費税は掛かりません。 会社が、所属する団体や組合に、会費を支払った場合、消費税は、「対象外」や「不課税」として経理処理して頂けます。

【 泉 和幸 名誉会長の教え (要約・抜粋) 】

- ・何歳になっても、年長者からは勿論、年少者・部下・家族からも学び続ける
姿勢を持つ事が重要
- ・自らが学んで得た気づきを、日々の生活・仕事を通じて、会社・家族・取引先・
地域に実践すべし (知行合一)
- ・古典に学び・人間に学び・世界に学ぶ と同時に、ニュース・多数派を疑い、
「仮説と検証」のサイクルを回し続ける
- ・対人関係に於いては、誰しも長所・短所が有る。悪なる部分を十分に把握した上で、
良なる部分に光を当てて、したたかに付き合う事が肝要
- ・「異質融合」 同質の心地良いイエスマンを侍らせる事の危険性。耳触りの悪い・
自分とは違う考えの人と敢えて交わる事が失敗の回避策
- ・月一回の講義に向けて、参加者の顔を思い浮かべながら、相手の心に響き、成長の
ヒントになる要素を盛り込んだ事前準備を入念に行い、与えられた時間をフル活用して、
「魂」を込めて講義を行う姿勢。又、参加者も遅刻しない等、自らを律して傾聴すべし。
- ・御縁を頂いた講師には礼節を尽くし、その後も、折に触れて、その方々の動向にも関
心を持って敬意を表すると共に、そこからも 学び続ける。